

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	967.67	2023/03/13
High	1002.00	2023/03/14
Low	949.19	2023/03/15
Close	975.76	2023/03/17

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4167.00	2023/03/13
High	4310.00	2023/03/14
Low	4073.00	2023/03/15
Close	4152.00	2023/03/17

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1388.00	2023/03/13
High	1531.00	2023/03/15
Low	1379.00	2023/03/13
Close	1419.00	2023/03/17

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	5983.00	2023/03/13
High	6610.00	2023/03/15
Low	5881.00	2023/03/17
Close	6016.00	2023/03/17

ニュースエクスプレス

医薬の有効成分としてプラチナを使う研究開発を行っている先端企業

製薬業界では日々革新が進んでいる。新たな治療の開発がなされながら、それでもまだ数多くのニーズがあり、さらに薬理ゲノミクス、デジタル治療、人工知能などのテクノロジーが重要になる中で、多くの研究開発がなされている。GlobalDataの「製薬業界のイノベーション：有効成分としてのプラチナ（Innovation in Pharmaceuticals: Platinum as active pharmaceutical ingredient）」というレポートによると、製薬業界では過去3年間だけでも 63万3000 件以上の特許が申請・承認されてきた。

有効成分としてのプラチナを使う革新的な医薬分野が注目されている。

プラチナベースの製薬はガン治療に広く使われている。デントリマー、ポリマー、リポソーム、ナノチューブ、ナノフォームレーションなどの最新技術、あるいはそれらを組み合わせた技術は、プラチナベースの調合薬の高い安全性と、副作用を抑える働きがあることを示している。ガンの他にプラチナベースの調合薬は主に中枢神経系、免疫系、呼吸器官、耳鼻咽喉科の治療に研究開発されている。

GlobalDataの分析はさらに、それぞれの分野の研究開発の先端をいく企業を紹介しており、特許の適応性や登録された国々とその影響についても査定している。GlobalDataが分析した企業は全部で 240 社で、テクノロジー企業から、大手製薬会社、スタートアップ企業まで様々な企業が医薬の有効成分としてのプラチナに関する研究開発に携わっていることがわかる。

Vertex Pharmaceuticals はプラチナベースの医薬品で多くの特許を申請している企業の一つだ。同社は ATR チロシンキナーゼに焦点を当てたプラチナ調合薬に関する特許を申請しており、膵臓ガンと非小細胞肺癌の治療薬の開発を行っている。

特許の適応範囲の広さというならばOncolytics Biotech が一番で、続くのが PharmAust と Calgent Biotechnologyである。特許が登録された国の数が最も多いのは Komipharm International、次にAmgen と Novartis が続く。

[https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc\\_hpm/precious\\_metal\\_update/en\\_6/Appraisal\\_20230306.pdf#msdyntrid=Jn-4xZhPryZ9acelSgqzk2VyOnF42ocJn3QCz\\_fpOoe](https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20230306.pdf#msdyntrid=Jn-4xZhPryZ9acelSgqzk2VyOnF42ocJn3QCz_fpOoe)

中国、電気自動車でキャッシュバック、パラジウム需要には痛手の可能性も

中国のバッテリー電気自動車の販売は今年に入って政府の補助金が終わったため低迷していたが、今度は需要喚起のために地方レベルで、ガソリン車・ディーゼル車を電気自動車と交換すればキャッシュバックする現金補助が始まっている。上海市では、ガソリン車・ディーゼル車をハイブリッドでない電気自動車に買い換えれば、約1440ドルの一時金を受け取ることができる。上海は中国国内で電気自動車が最も普及している都市で、2022年の新車登録の53%は、電気自動車とプラグイン・ハイブリッド車、そのうち 55%はバッテリー電気自動車だった。2022年末時点で中国国内では1045万台のバッテリー電気自動車走っている。

同じように北京市もガソリン車・ディーゼル車をバッテリー電気自動車に買い換え、1年から6年たったガソリン車・ディーゼル車の登録を抹消すれば、1150ドルの補助金、6年以上の古い車の登録を抹消すれば、1440ドルが受け取れる。

今年の中国の自動車触媒のパラジウム需要は比較的安定しており、80.9 トンという予測が出されているが、地方レベルの補助金策の効果次第で需要が減る可能性もある。

欧州ではバッテリー電気自動車ガソリン車・ディーゼル車のシェアを食い、さらにパラジウムをプラチナに代替する動きで、自動車触媒のパラジウム触媒は、6% 減少する予測だ。パラジウムは先週、2020年につけた最低価格を下回ったが、1375ドル/オンスにはサポートがあるようで、1382ドル/オンスで週を終えた。しかしまだ確固たる下値支持線が見えないため、再び下がる可能性もある。

[https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc\\_hpm/precious\\_metal\\_update/en\\_6/Appraisal\\_20230313.pdf#msdyntrid=zGtqFPqrlr\\_K4zRaXGMmChpTR8tH08W3tR02NIRup9jo](https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20230313.pdf#msdyntrid=zGtqFPqrlr_K4zRaXGMmChpTR8tH08W3tR02NIRup9jo)

Translated by Osawa KAZUKO

WPIC直近の活動

- WPICの2022年第4四半期のレポートによると、2023年のプラチナ市場は2年間の大幅な余剰を経て、17.3 トンの供給不足となる予測である。鉱山とリサイクル供給は前年比僅か3% (6.3トン) しか増えないが、需要は24% (47.7トン) 増えるため、これは2022年の24.1 トンの供給余剰であった市場が40.4トン以上も変動することを意味する。2022年の余剰は減少 - 健全な自動車と工業需要は、ネガティブな投資需要で相殺された。詳しくはプラチナPQ (2022年第4四半期レポート) をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/supply-and-demand/platinum-quarterly>

- 世界の自動車生産はまだコロナ禍以前のレベルに回復していないが、自動車のプラチナ需要は伸びている。2022年の需要は12% 増えて92トン、そして今年の需要はさらに10% 増え、2019年の需要よりも13% 多い、101トンになる予測だ。この需要を牽引しているのは、厳格化する排ガス規制で車両一台に使われるプラチナが増えていること、エンジンの温度の変化が大きいため浄化触媒装置に使うプラチナの量が増えるハイブリッド車のマーケットシェアが増えていることなどが挙げられる。詳しくはプラチナ豆知識 (パラジウムの代替となるプラチナ) をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum>

免責事項：本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。

